

## 12期 生演奏を楽しむ科

日時： 2025年1月17日(金)10:00~12:00

学習テーマ： 日本の四季、世界の音旅

講師： (ソプラノ)播摩夏奈先生  
(ピアノ:伴奏と独奏)竹中敦子先生



### 第1部 日本の四季

(夏→秋→冬→春…の順で、代表的な「日本の四季の歌」の解説、ソプラノ独唱とピアノ独奏)

#### 夏①「夏の思い出(作詞:江間章子、作曲:中田喜直)」のソプラノ独唱

1949年にNHKのラジオ歌謡として人気を博した。詞の中にある「ミズバショウ」は5月末に咲くが、作詞者の江間章子氏は「尾瀬においてミズバショウが最も見事な5、6月を私は夏と呼ぶ」と述べた由。

#### ②「うみ(作詞者、作曲者は不詳)」のソプラノ独唱

文部省唱歌には「うみ(海は広いな大きいな…)」と「海(松原遠く消ゆるところ…)」がある

#### 秋①「ちいさい秋みつけた(作詞:サトウハチロー、作曲:中田喜直)」のソプラノ独唱

1955年にNHKの特別番組のために作曲され、その後1962年ボニージャックスの歌唱でレコーディングされ『第4回日本レコード大賞』で童謡賞を受賞した。

#### ②「変奏曲もみじ(原曲の作曲者は岡野貞一)」のピアノ独奏

「もみじ」は「紅葉」と書かれることもあるが、「もみじ」の本来の意味は紅葉する木のすべてを言う。

#### 冬①「ペチカ(作詞:北原白秋、作曲:山田耕筰)」のソプラノ独唱

日本では、ロシア式暖炉のことをペチカと呼んでいるが、北海道にても最近はあまり見かけないようである。(笑話として、「ペチカ」を「ICOKA」や「PITAPA」の仲間として勘違いされたとの話もある由。)

#### ②「津軽海峡・冬景色(作詞:阿久悠、作曲:三木たかし)」のソプラノ独唱

歌手石川さゆりのヒット曲。彼女は1973年にアイドル歌手としてデビューし、1977年にこの曲が大ヒットして第19回日本レコード大賞歌唱賞を受賞。

#### 春①「幻想曲さくらさくら」のピアノ独奏

「やよいの空は見渡す限り～」を連想させる華麗な変奏技法での演奏。

#### ②「あわて床屋(作詞:北原白秋、作曲:山田耕筰)」のソプラノ独唱

1923年に発表された曲で、「カニの床屋」と、「客であるウサギ」のユーモラスなやりとりが面白おかしく描かれた曲。この講義では、播摩先生が両手にカニを模擬したハサミを着けられての「チョッキン、チョッキン、チョッキンな…」の演技に、会場は大爆笑。



## 第2部 歌いましょう (歌唱指導:受講者全員でユニゾンでの歌唱)

### (1)「いい日旅立ち」

1978年に山口百恵が歌った日本国有鉄道(当時)の旅行誘致キャンペーンソングで、後に谷村新司がカバーした。結婚披露宴などで歌われることもあるが、谷村は「歌詞を読めばわかるように、祝いの席に歌う曲ではない」と語った由。

### (2)「青い山脈(作詞:西條 八十、作曲:服部良一)」

服部良一が、梅田～京都間の電車の車窓からの六甲山脈の眺めから曲想を得たとも言われている。

## 第3部 世界の音旅

(ここで、播摩先生が衣装替えをされて「小さな世界(It's a small world:ディズニーパークのテーマソング)」を歌いながら登場。世界旅行を想定した「各国の歌曲」や「オペラ曲」を、ソプラノ独唱と、ピアノ独奏で披露)

### (1)ペルー:「コンドルは飛んで行く(作曲:ダニエル・ロブレス)」(ソプラノ独唱)

1913年に作曲された曲。1970年にサイモン&ガーファンクルによってカバーされ、世界的な有名曲となった。1部～3部で構成されているが、この講義では1部だけを紹介。

### (2)ベネズエラ:「モリエンドカフェ(作詞、作曲:ホセ・マンソ・ペローニ)」(ソプラノ独唱)

日本においては、「コーヒールンバ」としてよく知られた曲。

### (3)南アフリカ共和国(南ア):「ライオンは寝ている(作曲:ソロモン・リンダ)」(ソプラノ独唱)

1939年に南アにて作曲された。1961年にアメリカのトークンズらがカバーし、今では「The Lion Sleeps Tonight」としてディズニー映画「ライオンキング」に使われている。

(この場では、受講生を半数ずつの「二部のバックコーラス」とし、先生のソプラノ独唱と合唱)

### (4)ドイツ:「三文オペラ・海賊の花嫁(作曲:クルト・ヴァイル)」(ソプラノ独唱)

### (5)ノルウェー:「君を愛す(作曲:グリーグ)」(ピアノ独奏)

グリーグが、アンデルセンの同名の抒情詩集への付曲として1864年に作曲し、後にピアノ曲に編曲した。

### (6)イタリア:「私の名前はミミ」(ソプラノ独唱)

プッチーニのオペラ「ラ・ボエーム」の中のアリアで、「私のナマエはミミと言います。本当はルチアなんだけど、どういわけかみんながミミと呼ぶの…」と歌う。

### (7)アメリカ:「慕情(作曲:サミー・フェイン)」(ソプラノ独唱)

1955年のアメリカ映画「慕情」の主題歌。



世界の音旅での播摩先生のコスチューム

## アンコール曲

「ふるさとの四季(メドレー曲)」から、次をソプラノ独唱。

「ふるさと(1番)」→「春の小川」→「われは海の子」→「村祭り」→「冬景色」→「ふるさと(2～3番)」

## 講義のまとめ

播摩先生の派手なコスチュームと巧みな解説によって、2時間の講義を全く飽きさせない楽しい時間を過ごさせていただくことができた。【広報担当:S.S.】